

2019（平成31）年度第1回教育研究評議会議事録

日 時 平成31年4月17日(水) 14:30～15:58 TV会議
場 所 事務局5階大会議室、S-P o r t 3階会議室
出席者 石井、丹沢、木村、東郷、手島、寺村、小谷、河合、笹原、白井、日詰、
田島、江口尚、熊倉、近藤、小西、田中、北村、川田、喜多、森田、鳥山、
江口昌、原、三村、朴、澤田の各評議員
陪席者 鈴木、村松の各監事、藤井、宮原の各学長補佐

議事に先立ち、議長から新任評議員の紹介、会議日程及び本会議とその他の全学会議の役割分担について説明があった。

I 前回議事録の承認について

平成30年度第11回教育研究評議会議事録（案）を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 浜松医科大学との法人統合及び大学再編について

議長から、浜松医科大学との法人統合及び大学再編について、資料1-1により、合意書及び確認書を3月29日に両学長が取り交わし、学内外に公表したとの報告があった。

また、議長から、静岡地区及び浜松地区における大学の将来像・振興策について検討する専門委員会を連携協議会の下に設置（資料1-2）したいとの提案があり、意見交換を行った。

意見交換の結果、静岡地区の大学運営検討専門委員会は、丹沢理事を議長とし、静岡キャンパス4学部の部局長、4副領域長、グリーン科学技術研究所長、情報学部長、工学部長、静岡キャンパスの創造科学技術大学院担当教員及び浜松医科大学の副学長1名を含め、状況により、電子工学研究所長を加え、議論を進めることとした。

なお、議長から、まずは静岡地区の委員のみで開催し、一定程度議論が固まった段階でその他の委員を含めること、課題ごとに適宜WGを設置するなど、具体的な議論を進めていただき、状況に応じ、構成員となっていない理事等を含め参加すること、専門委員会の検討状況は学内で共有していきたいとの発言があった。

<議長の説明>

- ・前回本会議での意見を受け、合意書及び確認書の修正を行った点は、合意書の2. 合意事項の(1)について、「統合」「再編」に係る表現の記載順を他の箇所と整合させたこと、確認書に「合意後、早急に連携協議会の下に浜松地区及び静岡地区における大学の将来像・振興策について検討する専門委員会を設置し、教職員との丁寧なコミュニケーションと合意に基づき進めるものとする。」という項目を追加したことである。

<議事に関連して委員から出された意見等>

- ・田中委員から、浜松地区の大学運営検討専門委員会は、学部長と副学部長で構成されているため、静岡地区も同じ構成になると望ましいこと、また、各部局から2名

出すことにより、様々な視点からの議論、異なった角度からの提案ができ、より丁寧に議論が進むと感じているとの発言があった。

- ・日詰委員から、静岡地区の大学の将来構想については、多岐にわたる事項を検討していかなければならず、様々な論点ごとにWGを設けることが必要になってくると感じていること、また、静岡地区の大学の将来ビジョン、将来構想の検討について、まずは静岡地区の構成員だけでじっくり議論を行い、その後、課題や状況に応じて、浜松地区の部局長や浜松医科大学の教員が加わる必要がある場合には加わるなど、柔軟に対応した方がよいのではないかとの発言があった。
- ・江口尚委員から、静岡地区の強みを伸ばしていく重要な会議であり、議題ごとに会議の大きさを考えながら展開していくことが必要であること、また、WGの構成員でも構わないので、副領域長を含めていただきたいとの発言があった。
- ・森田委員から、教育、研究等、様々なことを見定める重要な会議であるため、副領域長を含めたメンバーで議論していきたいとの発言があった。
- ・原委員から、静岡地区の博士課程の在り方の議論も必要であるため、創造科学技術大学院から静岡キャンパスの担当教員を委員に含めていただきたいとの発言があった。
- ・鳥山委員から、専門委員会において何を議論するのか、しっかりと説明をしていただきたいとの発言があり、議長から、静岡地区の新大学の在り方、浜松地区との連携を議論する場になるが、出てきた課題に対し、柔軟に対応いただきたいとの発言があった。

2 理事の職務分担の変更及び副学長（総務・財務・施設担当）の任命に伴う規則等の一部改正について

議長から、理事の職務分担の変更及び副学長（総務・財務・施設担当）の任命に伴う規則等の一部改正について、資料2により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

3 静岡大学個人情報管理規則の一部改正について

手島委員から、静岡大学個人情報管理規則の一部改正について、資料3により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

4 アレクサンドル・イワン・クザ大学（ルーマニア）との大学間交流協定の更新について

議長から、アレクサンドル・イワン・クザ大学（ルーマニア）との大学間交流協定の更新について、資料4により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

5 コメニウス大学（スロバキア）との大学間交流協定の更新について

議長から、コメニウス大学（スロバキア）との大学間交流協定の更新について、資料5により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

6 ワルシャワ工科大学（ポーランド）との大学間交流協定の更新について

議長から、ワルシャワ工科大学（ポーランド）との大学間交流協定の更新について、資料6により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

7 リガ工科大学（ラトビア）との大学間交流協定の更新について

議長から、リガ工科大学（ラトビア）との大学間交流協定の更新について、資料7により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

8 広域単位互換に関する協定書の締結について

丹沢委員から、広域単位互換に関する協定書の締結について、資料8により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

＜議事に関連して委員から出された意見等＞

- ・日詰委員から、締結の背景について質問があり、議長及び丹沢委員から、全国コンソーシアム会議で先方より提案があり、ふじのくに地域・大学コンソーシアムと単位互換制度に係る包括協定を締結したため、各大学で包括協定を締結することになったとの回答があった。

9 地域創造学環のコース再編について

江口昌委員から、地域創造学環のコース再編について、資料9により提案があり、審議の結果、これを承認した。

10 学長選考会議学内委員の選出について

議長から、任期満了に伴う静岡大学学長選考会議学内委員の選出について、資料10により説明があり、選出方法の一部改正を審議し、原案どおり承認した。その後、投票を実施した結果、日詰、近藤、川田、森田の各委員を選出した。

また、事務局から、第1回会議を4月24日（水）に静岡キャンパスで開催するとの案内があった。

Ⅲ 報告事項

1 2019（平成31）年度第1回企画戦略会議（平成31年4月3日）報告

議長から、2019（平成31）年度第1回企画戦略会議（平成31年4月3日）について、資料11により報告があった。

2 役員・部局長等及び主要会議の委員等の学長が指名する者について

議長から、役員・部局長等及び主要会議の委員等の学長が指名する者について、資料12により報告があった。

3 平成30年度監事業務監査実施結果の報告について

鈴木監事から、平成30年度監事業務監査実施結果の報告について、資料13により報告があった。

4 平成31年度静岡大学入試実施状況について

丹沢委員から、平成31年度静岡大学入試実施状況について、資料14により報告があった。

5 平成30年度卒業・修了者の進路状況について

寺村委員から、平成30年度卒業・修了者の進路状況（3月31日現在）について、資料15により報告があった。

6 第3期中期目標期間における中期計画実施体制の一部改正について

東郷委員から、第3期中期目標期間における中期計画実施体制の一部改正について、資料16により報告があった。

7 教育研究組織の現況分析の単位について

河合委員から、第3期中期目標期間4年目終了後に行われる評価における教育研究組織の現況分析の単位について、資料17により報告があった。

IV その他

1 2019年度「静大フェスタ」について

寺村委員から、2019年11月9日から10日に開催する第24回テクノフェスタ in 浜松及び11月16日から17日に開催する第9回キャンパスフェスタ in 静岡について、資料18により協力依頼があった。

以上